

図書館だより 12月

happy holidays



読書月間終了しました。

ワシントン日本語学校図書館 (tosho@wjls.org) 令和6年 12月号
開館時間 8時50分～16時

2024年最後の月になりました。みなさん、読書の秋は満喫できましたか。今年もいろんな本に出会ったと思います。その中に何度も読みたい本、運命を感じた本はありましたか？初めての本を読む前はいつも「どんな本だろう」と楽しい気持ちになります。今年最後の締めくくりに読む本はどれにしようかと思うとワクワクしますね。たくさんのワクワクの先に、自分だけの特別な本が見つかりますように。

11月の読書月間では、たくさんの児童生徒がスタンプラリーや「本の帯クイズ」に参加してくれました。たくさんの新しい本を知るきっかけや、読みたくなる本に出会えたでしょうか。「1冊プラス貸出し券」は12月中いつでもご利用いただけます。ぜひご活用ください。



冬休み読書を楽しもう♪



あと少しで冬休みがはじまります。外は寒いですが、暖かい家の中で温かい飲み物を飲みながら、ほっとりと読書を楽しむのはいかがでしょうか。心も体も風邪をひかないよう、たくさん言葉の栄養をあたえてあげましょう。冬休み前の12月21日は、同日までに全ての本を返却された場合、**生徒1人5冊**本を借りることができます。(1冊プラス券を利用すると、**1人6冊まで**。保護者の方は**1家庭10冊まで**借りられます) 読みたい本がまとめて借りられるいい機会です。ぜひご利用ください。

返却日は1月4日です。



人気シリーズ貸出のご案内

「サバイバル/タイムワープ」「発明/実験対決」「漫画」については、生徒それぞれ1人1冊まで借りることができます。放課後対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。限られた本をより多くの生徒に利用してもらいたいため、皆様のご協力をお願いいたします。

私物図書をお預りしています

図書館では間違って返却された個人の本、他の図書館で借りられた本をお預かりしています。お心当たりのある方は、職員に声をおかけください。

★図書館で1ヶ月保存し、お問い合わせがない場合は寄贈扱いとさせていただきます。

11月人気ランキング

新しく入った本

1 どっちが強い!?・最強王シリーズ
おぼけずかんシリーズ

2 いちにちシリーズ/ふくべあきひろ
霧島くんは普通じゃない/麻井深雪

3 推しの素晴らしさを語りたいのにやばい!
しかでてこない 自分の言葉でつくるオタク文章術/
三宅香帆

貸出利用者
生徒 882人
保護者 426人

貸出冊数 3,417冊

11月の貸出状況

「あれ?これは…」と
図書館の本が出てきたら、
返却してください!
貸出の延長をしたい時は、
カウンターまで
お越しください。

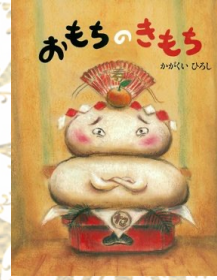


冬休みが近づいてきました。今月は、冬の楽しさがいっぱいのお話や心がほっこり温かくなるような優しいお話、そして一年の最初の行事「お正月」にまつわるお話、おもちつきのお話などを集めました。



「ふゆじたくのおみせ」 ふくざわゆみこ (福音館書店)

ある日ふたりのところに「ふゆじたくのおみせ」からダイレクトメールが届きます。このお店は森のみんながふゆじたくをするためのお店、どんぐりのお金で品物を買います。クマさんとヤマネくんをはじめとして、森のみんなは目をつけた品物を買うため森の中へどんぐりをさがしに散っていくのですが… (対象年齢：4歳～)



「おもちのきもち」 かがいひろし (講談社)

主人公は、お正月の鏡もち。ペタンペタン頭をたたかれ、のばされ、あんこやきなこをつけられたあげく、食べられてしまう！で、床の間に飾られた鏡もちは、食べられる前に逃げ出す決意をします。思いつき走って、おなががすいた鏡もちときたら、なんと自分の味見がしたくなってしまい……。 (対象年齢：3歳～)



「こたつ」 中川ひろたか (福音館書店)

大みそかの朝、「今日は夜中まで起きている」と宣言して、こうたんの長い一日がはじまります。宿題せうにころころしたり、おせち料理づくりを手伝ったり。年越しそばを食べた後は、初めての夜ふかしを堪能します。真上から、俯瞰(ふかん)で見る独特のスタイルで、こたつのある生活の楽しさと、家族のあたたかさ、新年を迎えるよこびを描きます。 (対象年齢：5歳～)



「しめかざり」 森須磨子 (福音館書店)

お正月、家々の玄関に飾られた「しめかざり」を、みなさんもきつと見たことがあるでしょう。どんな形だったか、覚えていますか？地域地域でちがうのはもちろん、作り手や飾る場所によってもしめかざりの形はさまざまで、日本全国には鶴や亀、蛇、馬、柄杓や俵など、驚くほどいろいろな形のしめかざりがあります。基本的にワラだけで作られるしめかざりの造形の美しさを見ながら、そこに込められた人々の想いをたどります。 (対象年齢：中学年～)



「ストーブのふゆやすみ」 村上しいこ (PHP研究所)

今日は待ちに待ったスキー旅行。みんなで戸締り点検していたら、いつもの場所にストーブがない。「ストーブが家出したんや」とお父ちゃん。おかしいなと思っていたら、こたつの中でストーブを発見。すると、「ちょっと寒いやないの。はやくふとんおろして」といって振り返ったのは、目と口と鼻がついているストーブ。しかも、ストーブはこたつで留守番しているといっみんなを困らせた。でも、富士山が見られるというお父ちゃんの嘘にストーブがだまされ、一緒に行くことになった。家族三人とストーブが繰り広げる楽しいお話。 (対象年齢：低学年～)



「すみれちゃんのすてきなプレゼント」

石井睦美 (偕成社)

どうして十二月ってこんなに毎日がとくべつでわくわくするのでしょうか！ママがアドベントカレンダーをかべにかざってくれました。クリスマスの日まで毎日にとびらがついていけるとかいいプレゼントの絵がかいてある十二月だけのとくべつなカレンダーです。すみれちゃんも小学三年生。妹のかりんちゃんはいいかわらずすぐに泣くので、なやみのたねですが、それでもおねえさんのきぶんってものがわかってきたすみれちゃんです。 (対象年齢：低学年～)



「とっておきの詩」 村上しいこ (PHP研究所)

国語の時間、「ふ・ゆ・や・す・み」の文字を、一文字ずつ頭につけて文章をつくる、ことば遊びの勉強をした。冬休みに「詩」をつくる宿題をだすから、そのための練習だって。冬休みに入って、ずっと考えていたけど、ひとつも「詩」でなかった。ほんまは今日ひとつできたけど、母ちゃんが激怒して、ボツや。けっこうおもしろいと思ったけど……。素直でユーモラスな詩が笑いを誘い詩をつくる楽しさが伝わるお話です。 (対象年齢：低学年～)



「はりねずみのルーチカ 星のうまれた夜」 かのゆうこ (講談社)

クリスマスが近づいて、フェリエの国にすむ、はりねずみのルーチカはいいことを思いつきました。ひとびとの国からもちかえてきた「キラキラ」を夜空にかざって、仲間たちに星空をみせてあげます。でも、ルーチカは、夜空までいく方法をかんがえていませんでした。仲間たちのアイディアで、夜空にこうとしますがうまくいきません。そこで「夜空までとどくはしこ」のプレゼントを、サンタさんにおねがいすることにしました。ところが「サンタさんへのおねがい、かえることにしたんだ」というルーチカ。いったい、どうしたのでしょうか……。 (対象年齢：中学年～)



「ムーミン谷の冬」 トーベ・ヤンソン (講談社)

真っ白な雪にうまれたムーミン谷。みんなと一緒に冬眠にいったムーミントロールは、どうしたわけか一人、目をさましてしまいます。外に出ると、そこは白一色の世界！「これがきっと、雪というものなんだ。」きれいなしっぽをもつリス。水あび小屋に住むおしゃまさんや、はい虫の女の子。はじめて知る冬の世界は、おどろきと出会いがいっぱい！ (対象年齢：中学年～)



「飛ぶ教室」 エーリヒ・ケストナー (岩波書店)

ボクサー志望のマッツ、貧しくも秀才のマルティン、臆病なウーリ、詩人ジョニー、クールなゼバスティアン。生いたちも性格もまったくちがう少年たちはそれぞれに、悩み、悲しみ、そしてあこがれを抱えています。寄宿学校でくり広げられる、涙と笑いがあったクリスマス物語。 (対象年齢：高学年～)



「宙わたる教室」 伊与原新 (文藝春秋)

東京・新宿にある都立高校の定時制。そこにはさまざまな事情を抱えた生徒たちが通っていた。負のスパイラルから抜け出せない21歳の岳人。子ども時代に学校に通えなかったアンジェラ。起立性調節障害で不登校になり、定時制に進学した佳純。中学を出てすぐ東京で集団就職した70代の長嶺。「もう一度学校に通いたい」という思いのもとに集った生徒たちは、理科教師の藤竹を顧問として科学部を結成し、学会で発表することを目標に、「火星のクレーター」を再現する実験を始める。



「クスの番人」 東野圭吾 (実業之日本社)

不当な理由で職場を解雇され、その腹いせに罪を犯し逮捕されてしまった玲斗。同情を買おうと取調官に訴えるが、その甲斐もなく送検、起訴を待つ身となってしまった。そこへ突然弁護士が現れる。依頼人の命令を聞くなら釈放してくれるというのだ。依頼人に心当たりはないが、このままでは間違いなく刑務所だ。そこで賭けに出た玲斗は従うことに。依頼人の待つ場所へ向かうと、年配の女性が待っていた。千舟と名乗るその女性は驚くことに伯母でもあるというのだ。あまり褒められた生き方をせず、将来の展望もないという玲斗に彼女が命令をする。「あなたにしてもらいたいこと——それはクスの番人です」と。『秘密』『時生』『ナミヤ雑貨店の奇蹟』に続く新たなエンターテインメント作品。